

「雨なんかには負けない」 八方原パワーで共同作業



水路清掃の際に発見した、大量の「鯉」。水路の中で互いにぶつかり合うように水しぶきを上げていました



水路が広くなる場所や曲がるころには土砂がたまりやすい

5月7日、水路清掃が行われました。この作業は地域全体で取り組むもので、梅雨の大量の雨に備えて水路の土砂や雑草の除去が目的です。

5月の連休の終わりにあたる日でしたが、前々日から降り続いた雨で水量が増えており、作業は慎重に行う必要があります。

数年前から地元の建設会社の国本さんの協力をいただき、ダンプカーと小型のパワーショベルを利用させていただいています。

下流側の状況の良い場所では、直接

パワーショベルの腕を下ろしていただき土砂の除去を行いました。また上流側の機械の使えない場所でも、すくいあげた土砂を直接ダンプカーに積み込んで、集積所に運搬することができました。泥をバケツで引き上げる作業は、依然として残

行いました。また上流側の機械の使えない場所でも、すくいあげた土砂を直接ダンプカーに積み込んで、集積所に運搬することができました。泥をバケツで引き上げる作業は、依然として残

万が一の事態に備えての防災訓練

ゴールデンウィークの最初の日曜日、公民館の防災訓練が行われました。当日は午前中に、農業関係者の主体の排水路の泥上げが行われ、午後から防災訓練が行われました。

今回の訓練には、こどもさんと一緒に参加をいただいた方がありましたの

で、おかあさんといっしょに模擬消防器を操作するところもあり、とても楽しい雰囲気となりました。この訓練には八方原消防組が主体となっていました。消火活動や緊急時の搬送など消防組の役割は少なくありませんが、現在小郡地域では消防組として組織されているのは少なくなりました。多くは自主防災組織に組織替えをして、消火、救護避難所運営などの部門を設けて、



救急搬送に向かう消防組、実際の搬送を想定▲

▼みんなで消火器を操作「火事だ！」



幅広い対応ができるようになります。ただ、現実的には有事に活動できる体制が組織できるのかも課題です。

事業所の皆さんと力を合わせる機会

地区の北側は、岩屋地区から流れてくる九田川の水路が地域を取り囲むように流れています。この清掃作業の一



作業に参加したみんなで記念撮影、後ろに積みあがった枝葉が見える

部を事業所の皆さんと一緒に作業を行っています。

5月19日、午後4時からの作業には地元の有志と合わせて20人が参加しました。

今回は水路に堆積した土砂は事前に除去していただいたので、水路の流れを妨害する可能性のある樹木の伐採を行う予定でしたが、前日からの雨で水



密集して中に入れない場所が大半

令和4年度のご報告と今年度の計画について

5月24日、八方原の環境を守る会の総会が開かれました。9割近い会員の参加をいただき、昨年度の事業の報告や、今年度の計画について検討しました。

会議には平成26年に法律の制定に伴

い改正した規約を掲載しましたが、その他の資料について不足の指摘がありました。また資料の中に見にくい部分があるという指摘もありました。結果として、すべての議案について承認をいただくことができました。

量が多く水路からの作業は断念し、上からできる範囲の作業を行いました。殆どの場所が私有地ですが、管理ができないために、放置されている状態です。

全部の伐採はできませんでしたが、それでも大量の枝や葉が積み上がりま

ワンダフル八方原ソフトボールチーム

5月21日、小郡地域ソフトボール大会が行われました。今回の参加は全体で8チームです。八方原チームも参加しました。合併前には複数のブロックに分けてそれぞれのトーナメントが行

われていましたが、今ではその必要もなくなりました。若い人の参加が得られないところに、コロナ禍の影響でますます参加が減ってきたという状況でしょう。



2回戦は不運が重なりコールド負けになりましたが、素晴らしいゲームをつくることができました。後の慰労会にはたくさんの子どもたちが参加、最高に賑やか



右投げ左打ち、林選手は右翼手

しかし、八方原チームにはこの上ない朗報がありました。女子のソフトボール経験者が2名加わってくださいました。

津川絵理さんと林美樹さんです。お二人がレギュラーメンバーで参加してくれました。お二人の活躍や主砲、原田尚幸君の豪打で、20対3という大差で一回戦を勝ち抜きました。